

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 平成 31 年 2 月 13 日（水）
午後 3 時 15 分から午後 4 時まで
- 3 場所 第 2 ・第 3 委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 傍聴者 1 名
- 6 事務局出席者 議会事務局長 隅田昌輝、同主任 高野真理子
- 7 会長あいさつ
- 8 協議事項

（１）ふれあいトークの報告書について（議会サポーター）

宮川会長：議会サポーターとの意見交換会報告書は、3 月定例会中に本協議会を開催するので、修正や意見があればその時に出してもらい、回答を返すことにする。また、一緒に配布してある富田林市の H P は、議会サポーターから意見をいただいたもの。個人的には面白い企画だと思うが、改選後の広報委員会で話し合ってもらうのが一番良いと思う。最終的には広報委員会の所管である。

併せて報告事項（１）の執行機関回答について、5 件一度に執行機関に照会したため、執行機関には迷惑をかけてしまった。これも早めに各区、各団体に返したいので、3 月定例会中の本協議会で取り扱うので、読んでおいてほしい。ところで、これまでは議事録として作成してきた記録書であるが、議会のものに執行機関が物申すのはどうなのかと、執行機関より意見があった。これまで、議会で判断し兼ねるものは執行機関に照会して質問者に返してきたが、そういうことであれば、執行機関に照会する際には具体的な質問形式で書いてもらわないと、答弁がしにくいという要望があったので、その点を踏まえた上で一読し、各区、各団体に返せる状態にしたいので、協力を。

（２）議会報告会（2 月 23 日開催）について

宮川会長（財務常任委員会委員長）：2 月 12 日の全員協議会で配布された、新規・主要事業一覧を配布し、詳細はプロジェクターで映写して説明をする予定。事前に報告はするが、内容に関しては財務常任委員会の正副委員長に一任いただきたい。

（異議なし）

塚本議員：どれが新規事業かは記載されていなかったが、新規事業のデータだけ執行機関からもらうのか。

宮川会長：全ページ分もらう。新規事業に限らず、参加者から主要事業について意見が出れば、それに関して意見交換ができればいいと考えている。

須藤議員：昨年はある程度絞って説明していたが、そのまま提示してもわかりづらいのではないかな。

宮川会長：資料として配布するには膨大な量になってしまうので、データは用意して映写できるようにしておく。誘い水として、概要説明用にいくつか事業をピックアップするので、選定は正副委員長に一任願いたいということ。

【分担】

司会：大野

プレゼンテーション：宮川

記録：木村

駐車場整理：伊藤、堀

受付：榊谷、塚本

写真：梅村

開会あいさつ：議長

閉会あいさつ：副議長

※ ICレコーダー：事務局で用意

※ 議会だよりは持って行かない。

※ 集合は1時

（３）その他

特になし

９ 報告事項

（２）プロジェクトチームからの報告

【議会サポーター】

鬼頭チーム長：平成31年度の議会サポーター募集のスケジュールについて。

5月中に住民基本台帳から500名無作為抽出を行い、議員で発送準備等を行い、6月1日に発送。公募は、1か月早い6月1日の広報で、無作為抽出の時期に同時に募集してはどうだろうか。

梅村副会長：再任を希望するサポーターはいつ決定していくか。

鬼頭チーム長：7月にサポーターとの意見交換会を開催し、その際に意思確認を行う。

梅村副会長：応募がたくさんあった場合、再任の枠がなくなってしまうか。

堀議員：本年度、公募は10名程度で募集した。数は調整できる。

宮川会長：確認だが、実際に動くのは改選後でよいか。

鬼頭チーム長：その通りである。改選後に 10 連休があるので、今のうちに
ある程度決めておきたいということ。

(異議なし)

宮川会長：では、改選後の議員に、事務局からこのことを伝えてほしい。

鬼頭チーム長：もう一点、サポーターへの説明会を本年度は 3 回実施したが、
平日と土日の合計 2 回とし、議員は 2 班に分かれて実施してはどうか。7
月の意見交換会も 2 回実施すると 7 月に 4 つ開催することになる。

宮川会長：改選後にチームで詳細を決めて進めることにしたい。

大野議員：7 月の意見交換会は、更新意思を確認するために、第 1 週か第 2
週、早めに実施したほうが良い。

(異議なし)

【ICT 推進】

鈴木チーム長：(資料に基づいて説明。) チームで報告書をまとめた。改選後
の新しい議員に委ねる。4 ページのスケジュールについて、当初示してい
たスケジュールから 1 年後ろにずれた。平成 32 年の第 1 回定例会からタ
ブレットを運用出来たらなあとまとめている。7 ページが検討結果。10 ペ
ージが安城市議会のものを真似た。

宮川会長：3 月定例会中に本協議会を開催するので、その時に確認をして決
定していきたい。

梅村副会長：表紙が岩倉市議会の決定事項かのように見えてしまう。チーム
案ならチーム案と、後から誰が見てもわかるようにしてほしい。6 ページ
の「検討事項」はチームでの検討事項と明記してほしい。また、進めてい
くなら、予算等の実施計画的な項目も掲載したほうがいい。パブリックコ
メントやふれあいトークに諮る等、市民参加も検討してほしい。

宮川会長：あくまでも今日提示された案なので、それも含めて 3 月の本協議
会で決めていく。

(3) 今後の視察について

宮川会長：2 月 15 日の宮津市議会会派視察について。本協議会の正副会長
に加え、正副議長、常任委員会委員長と議会運営委員会委員長には最低限、
出席してほしい。

(4) その他

【次回日程】

宮川会長：時間短縮のため、本協議会開催の２～３日前までには、意見等はデータで事務局へ提出してほしい。次回については３月８日（金）までに、出来ればデータで提出してほしい。ＩＣＴ基本計画とふれあいトーク報告書に関して。

次回日程：３月１５日（金）公共施設再配置検討協議会終了後

【意見】

堀議員：梅村議員から意見のあった市民参加について。執行機関のシステムに関して、議会はどれだけ意見を言ってきただろうか。なんでも市民参加にすればいいとは思わない。ＩＣＴ等技術的なことは、むしろ専門家に聞いたり、知見活用したりすることが必要と思う。次回、皆さんの意見を聴きたい。

梅村副会長：いいと思う。私が言いたかったのは、こういったものを導入したときは、市民に説明していかなければならないので、この場で議論を尽くしていればいいが、市民参加によって、事前に市民に訴えることが出来ると、説明ができるかと思って言った。

木村議員：大事な議論であると思う。議会サポーターでもいいと思う。市民の意見をもらって、知見の活用も含めて導入に向けて進めていくことを課題としてはどうか。

宮川会長：幅広い意見をもらって進めていくことは、議会にも必要ということ为前提に進めていくことが必要と思う。次回、意見が出なかったとしても継続的な課題として取り上げていくべきものと思うのでよろしくお願いしたい。

（午後４時閉会）